

環境基本計画長期的目標 4 の環境指標の見直し（案）について

1 指標の見直しに係る考え方

環境基本計画の環境指標については、①「主観的指標」については経年変化を見る必要があるため、出来るだけ変更しないこととし、②「客観的指標」については個別計画の改定内容を反映させるほか、状況に応じて見直しを行うこととしている。

なお、長期的目標 4「環境保全を総合的に推進するためのひと・しくみづくり」については、分野横断型の環境教育・協働取組の目標であるため、指標の見直しについては、評価検討部会において必要性の検討を行う。

2 長期的目標4の環境指標の見直し

(1) 主観的指標について

市民アンケートにおいて、環境学習や活動機会の場及び環境に配慮したライフスタイルについて実感を問う指標となっており、見直しの必要性は不要

(2) 客観的指標について

① 環境保全活動プログラム参加者数

環境学習に関する事業の参加者数を目標としているものであり、見直し不要

② 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト取組団体数（再掲）

生物多様性の取組において、広範な主体の協働による環境保全活動のため、見直し不要

③ KES 認証保有件数

京都で考案された環境マネジメントシステムであり、中小企業向けに全国で取り組んでいる普及啓発事業であるが、より市民・事業者・行政との協働取組にふさわしい指標となるよう見直しを行う。



見直し（案）

- マイバック持参率
- 食べ残しゼロ推進店舗数
- 環境学習施設連携事業数